



確かな技術で顧客に応える



ロードバイク、クロスバイク、MTB、小径車に特化

東京観光のメッカである浅草や東京スカイツリーに近い墨田区本所に店を構える寺田商会は、昭和3年創業の老舗自転車販売店。以前は押上にあつたが、東京スカイツリー建設に伴う区画整理により店頭で自転車展示できない等不都合が生じたことから、2011年に現在の場所へと移転した。SBA PLUS認定者の寺田光孝さんは4代目店主にあたる。

ロードバイク、クロスバイク、MTB、小径車に特化し、一般軽快車は販売も修理も行わないというビジネススタイルだけを聞くとスポーツバイクプロショップのようだが、同店は一味違う。老舗なりの趣がある店で、ロードバイクは海外ブランドのクロモリフレームモデルが多く、小径車もモールドンやプロンプトンが中心。国内に代理店ができる前から直接買いつけていた歴史がある故、ここにしかない海外ブラン

ドのモデルもある。従って自転車ツウの間では名の知れた存在で、ファンは全国に広がりリピーターも多い。

寺田さんは取引先の間屋からSBA PLUS制度が発足したことを聞くと、すぐに資格取得に動いた。「自己流だけでは技術は進歩しない。自転車を組み上げる技術について、まだまだ学びたいことが多いと感じていたが、それまで教えてもらえる場がなかった」。理由は、整備技術におけるブラッシュアップを期待してのことだった。そして、そこで培ったメンテナンス等に関する正しい知識をユーザーに伝えることも重要だと考え、ラジオ番組「ミラクル・サイクル・ライフ」にも積極的に出演している。

自転車販売店で100%完成する

寺田さんの哲学は「一般電気製品と異なり、自転車はメーカーの時点で完成しているモノではなく、ショップが手を加えて初めて100%完成するもの」。ただ組み上げるだけでなく、ユーザー特性に合わせてカスタムを加え販売しているのも、そうした考えによるものだ。そこに貢献しているのがSBA PLUSのブラッシュアップ講習。中でも最新のフレーム素材であるカーボンに関する講座は「カーボンでリスクが発生するのはどのようなケースか等、メーカーからは聞いていないが、カーボンのプロから改めて話を聞いた

ポーツバイクを始めたという人にとつての壁をなくしてくれる。Eバイクから始めて、自信がついたら今度は非アシストのスポーツバイクへ、というユーザーも出てくると思う」と、Eバイクの価値観は大きく変化した。

そんな寺田さんがSBA PLUSに対し今後望むのが、一般ユーザーへの認知拡大だ。認定証やポスターを店内で掲示はしているものの「だからこのショップは安心できる」には、まだ繋がっていない。「ショップ側にSBA PLUSの価値を知ってもらうだけでなく、ユーザーにももっと認知してもらいたい。サイクルモード等のイベントにも出展してほしいし、ラジオだけでもっと幅広いメディアでアピールしてほしい」。自転車の安全・安心のカギを握るのは店舗であると考え、その広がり期待しているのだ。

- ▽住所…東京都墨田区本所2-13-14
- ▽TEL…03-3623-0382
- ▽営業時間…8時30分～17時
- ▽定休日…月曜日・祭日
- ▽店内には小径車を中心に、ロードバイク、クロスバイクが展示。ロードバイクはクロモリフレームの希少車が多いのが特徴小径車も希少車が複数台並ぶ等、他店舗にはないラインナップ。またユーザー特性に合わせて、パーツ類をカスタマイズして販売するこだわりも持つ。

一般社団法人 自転車協会

「自己流では整備技術は進化しない」その向上心に応えたSBA PLUS

(一社)自転車協会が展開するスポーツバイクを取り扱う店舗スタッフの認定資格「SBA PLUS」。現在認定を受けている全国840名のSBA PLUS認定者は果たしてそこにどんな価値を見出し、ユーザーの安全・安心にどう役立っているのか。今回は東京都墨田区にある「寺田商会」の代表、寺田光孝さんに話を伺った。

「自己流では整備技術は進化しない」その向上心に応えたSBA PLUS



SBA PLUS 認定証



墨田区本所に店を構える寺田商会